



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.9 令和5年1月19日
発行者：校長 久保田 昌之

2023年卯年の始まりです

新型コロナウイルス第8波とインフルエンザの同時流行が気になる中、新しい年がスタートしました。今年の干支は、癸卯(みずのとう)で、芽を出した植物が成長していく飛躍、向上の年といわれています。ウサギが跳びはねるように、石海っ子一人一人が自分の能力を向上させ、一段と輝く姿を楽しみにしています。本年も本校の教育活動に温かいご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



皮革工場を見学

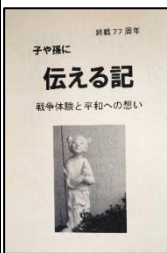
5年生は、「総合的な学習の時間」の学習として、皮革工場へ見学に行きました。皮から革へと変身していく様子を見て、皮革産業への理解を深めるとともに、素晴らしい品質の革作りをめざす働く人たちの思いにもふれることができました。



また、私たち人間に牛肉や革の恵みを与えてくれる牛の命についても深く考えることができました。

子や孫に 伝える記～戦争体験と平和への想い

明和福社会理事長の松浦暁了様から「子や孫に『伝える記』」を寄贈していただきました。終戦から77年たった今も、ロシアによるウクライナ侵攻等、世界各地で戦争や紛争が続いています。戦争について語り伝え、過去の教訓を学ぶことが平和を守ることに繋がると思います。



税について考えた租税教室

租税教育推進協議会から講師を招いて、6年生を対象に「租税教室」を行いました。「税の種類や使い道」「税の必要性」について、資料やビデオを使ってわかりやすくお話していただきました。最後に、お金の重さを実感するために、1億円のお金の見本を持ちあげました。子どもたちは、その重さにびっくりしていました。



太子みそ作りに挑戦

3年生は、「みのり会」の皆様にご協力いただいて収穫した大豆を使って、「太子みそ」作りに挑戦しました。「太子加工合同会社」の皆様によさしく教わりながら、大豆、塩、麴を団子状に丸め、大きな容器につめていきました。4年生になってから食べるのが楽しみです。



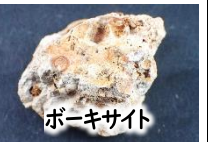
経験や教訓を語り継ぐ兵庫の防災教育

阪神・淡路大震災から28年をむかえた1月17日(火)に、震度5強の地震が発生した想定で避難訓練を行いました。全員が避難完了後、警察官の手記をもとにした「語りかける目」(明日に生きる-兵庫県教育委員会)のお話をしました。子どもたちはもちろん、震災を経験していない教職員も増えてきました。震災の経験を語り継ぐとともに、命を守るために主体的に行動できる力を育成していきます。



地球環境を守るためにご協力をお願いします

PTA役員の皆様がバザーの代替事業としてアルミ缶のリサイクル活動をしてくださっています。アルミニウムの原料は、ボーキサイトという鉱石です。精錬してアルミニウムにするためには、たくさんのエネルギーが必要ですが、リサイクルをすればわずか3%のエネルギーですみます。ご家庭にあるアルミ缶を洗った後、お子さんを通じて学校へ持ってきてください。



***** 教室の窓 *****
寒い朝に心が温まる瞬間があります。毎朝、子どもたちが登校する前に学校の周りの道を歩きながらゴミ拾いやフェンスの点検をしています。冬の朝は指先まで冷たくて寒い日も多いです。そんな中、自転車に乗った中学生たちと出会います。明るいさわやかな声であいさつしてくれます。「おはよう」だけの挨拶が、今では「行ってらっしゃい」「行きます」となっています。このやり取りの瞬間、心が「ポツ」と温まります。さすがみんなの先輩たち。すごく素敵です。〈文責：教頭 長谷川 大輔〉